

# 全銀協におけるAML/CFT高度化に向けた取組み

2021年10月13日

一般社団法人全国銀行協会

## 全銀協におけるAML/CFT高度化に向けた取組み

| 年度     | 主要取組                       | 具体的内容   |
|--------|----------------------------|---|
| 2018年度 | AML/CFT態勢高度化研究会の設置         | AML/CFT態勢の高度化に向けた検討課題について研究する場として2018年6月に設置<br><ul style="list-style-type: none"> <li>✓ KYCに係る他国事例の比較分析</li> <li>✓ 日本におけるKYC共有化のあり方の検討</li> </ul> |
| 2019年度 | AML/CFT態勢高度化研究会の運営         | マネロン・テロ資金供与対策全般(取引開始時～期中管理)に係る金融機関間での共通化・共有化について検討  |
| 2020年度 | NEDO実証事業                   | AI等の先端技術を活用した高度なシステムの共同化を通じた効率的かつ実効的なマネー・ローンダリング対策実現の可能性、及び必要な規制の精緻化等について調査・整理  |
| 2021年度 | AML/CFT業務共同化に関するタスクフォース設置等 | [詳細は後述]   |

## NEDO実証事業の概要

### 事業内容

- 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（通称NEDO）の2020年1月31日付公募事業「規制の精緻化に向けたデジタル技術の開発（調査）」のうち、金融分野の調査項目の「マネー・ロンダリング対策に係る調査」に関する調査事業

### 調査実施者

- 一般社団法人 全国銀行協会、有限責任 あずさ監査法人

### 調査目的

- AI等の先端技術を活用した高度なシステムを共同化を通じた効率的かつ実効的なマネー・ローンダリング対策の実現の可能性や、必要な規制の精緻化等に関する調査・整理

### 調査目標

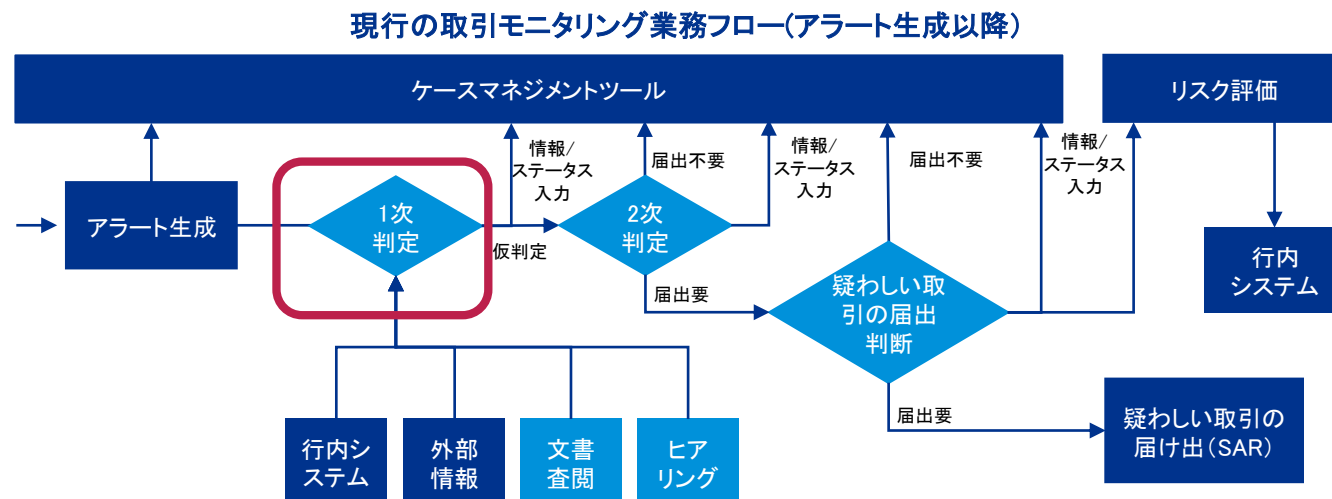
- AI等の実現可能性を確認するために、以下のシステム（実験用ミニシステム）を構築。当該ミニシステムにかかる有効性について、業務の実効性の観点から検証するとともに、共同化を前提としたオペレーションの設計案を提示。また、構築されたシステムの有効な運用や共同オペレーションの実現のために必要な規制上の課題や論点を整理。

|             |                                       |
|-------------|---------------------------------------|
| 取引モニタリングAI  | 取引モニタリングにおける誤検知を削減し、業務の効率化及び分析の品質を確保  |
| 取引フィルタリングAI | 取引フィルタリングにおける誤検知を削減し、業務の効率化及び分析の品質を確保 |
| 共同データベース    | 金融機関のデータを安全に管理し、品質を維持                 |
| 監査システム      | AIが適切に機能していることを確認                     |

## (参考)実験用ミニシステムの検証を踏まえた検討:取引モニタリング(1/2)

### ① AI活用イメージ

- 取引モニタリングの業務フローのうち、1次判定における確認作業の一定部分に、AIを活用することを検討(赤枠部分)



### ② AIによる効率化

- スコアに応じてアラートのあがった取引の確認深度を調整⇒業務効率化・実効性向上の実現
- 現行業務では、アラートとして発生した全数を概ね同じ深度で実施しているが、序列付けが可能であるAIのアウトプットを活用し、スコアに応じて確認深度に濃淡をつけることで、「業務効率化」が可能である。
- また、これによりハイリスク取引へよりリソースを集中させ「実効性の向上」も可能

## (参考)実験用ミニシステムの検証を踏まえた検討:取引モニタリング(2/2)

### ③ AI出カイメージ

□ AIからの出力情報が効率的・効果的な判断に資するよう、理解しやすく整理されていることが重要

《取引モニタリング実験用AI》出カイメージ

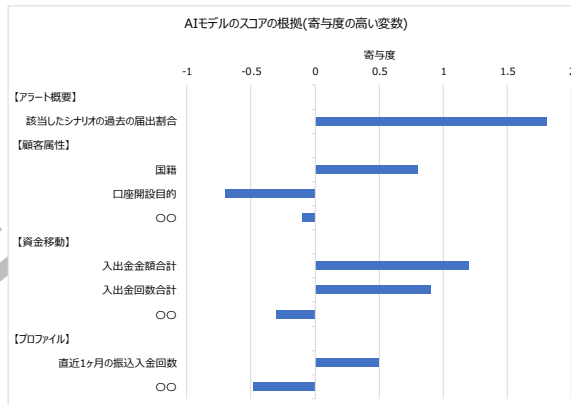
|      |      |     |    |    |    |
|------|------|-----|----|----|----|
| 支店名  | 口座番号 | 顧客名 | 属性 | 〇〇 | 〇〇 |
| 〇〇支店 | 〇〇   | 〇〇  | 個人 | 〇〇 | 〇〇 |

| アラートの概要        |           |
|----------------|-----------|
| 項目名            | 内容        |
| アラート出力年月       | 2021/1/15 |
| アラートID         | 987654321 |
| アラート出したシナリオID  | 1234567   |
| アラートとしたシナリオの概要 | 〇〇〇〇      |
| 〇〇             | 〇〇〇〇      |

| AIモデルのスコアの詳細情報 |                  |            |          |         |
|----------------|------------------|------------|----------|---------|
| 分類             | スコアの要因 (説明変数)    | 当該取引の値     | ランク内取引平均 | 全取引平均   |
| アラート情報         | 該当したシナリオの過去の届出割合 | 80.0%      | 82.0%    | 12.0%   |
|                | 国籍               | コロンビア      | ハイリスク国   | 日本      |
| 顧客属性           | 口座開設目的           | 給料受取       |          |         |
|                | 〇〇               | 〇〇         | 1.30     | 0.01    |
| 資金移動           | 入出金金額合計          | ¥1,238,900 | ¥859,000 | ¥54,800 |
|                | 入出金回数合計          | 27.50      | 23.60    | 3.50    |
| プロフィール         | 〇〇               | 〇〇         | 0.09     | 0.06    |
|                | 直近1ヶ月の振込入金回数     | 16.70      | 15.40    | 1.52    |
| 〇〇             | 〇〇               | 〇〇         | 0.08     | 0.05    |

| 当該顧客・口座に紐づく各取引に関する情報 |            |      |      |
|----------------------|------------|------|------|
| 取引内容                 | 取引1        | 取引2  | 取引3  |
|                      | 取引情報       | 取引情報 | 取引情報 |
| 取引金額                 | ¥2,000,000 | 〇〇   | 〇〇   |
| 取引種別                 | 振込(出金)     | 〇〇   | 〇〇   |
| 取引相手先金融機関名           | 〇〇銀行       | 〇〇   | 〇〇   |
| 取引相手先口座番号            | 456789     | 〇〇   | 〇〇   |
| 取引後残高                | ¥1,000,000 | 〇〇   | 〇〇   |
| 〇〇                   | 〇〇         | 〇〇   | 〇〇   |
| 〇〇                   | 〇〇         | 〇〇   | 〇〇   |

| AIスコアの結果 |   |     |     |     |     |     |     |     |     |      |      |
|----------|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|
| 良い ←     |   |     |     |     |     |     |     |     |     |      | 悪い → |
| ランク      | 0 | 0.1 | 0.2 | 0.3 | 0.4 | 0.5 | 0.6 | 0.7 | 0.8 | 0.9  | 1    |
| スコア      |   |     |     |     |     |     |     |     |     | 0.94 |      |



### 取引モニタリング実験AIのポイント

- ✓ 届け出るべき疑わしい取引であることの確からしさをスコア表示
- ✓ スコアの根拠となる情報の寄与度も併せて表示
- ✓ 当該アラートに紐づく顧客や口座の取引情報を併せて表示することで一覧性を向上

### 実証実験結果

- ✓ 金融機関実務担当者へのヒアリングにてAI出カイメージについて一定程度の評価を獲得
- ✓ より実務適用に耐え得るものとするために、具体的なユースケースに応じた要件定義を行う必要性を確認

## 共同運営機関の提供サービスイメージ

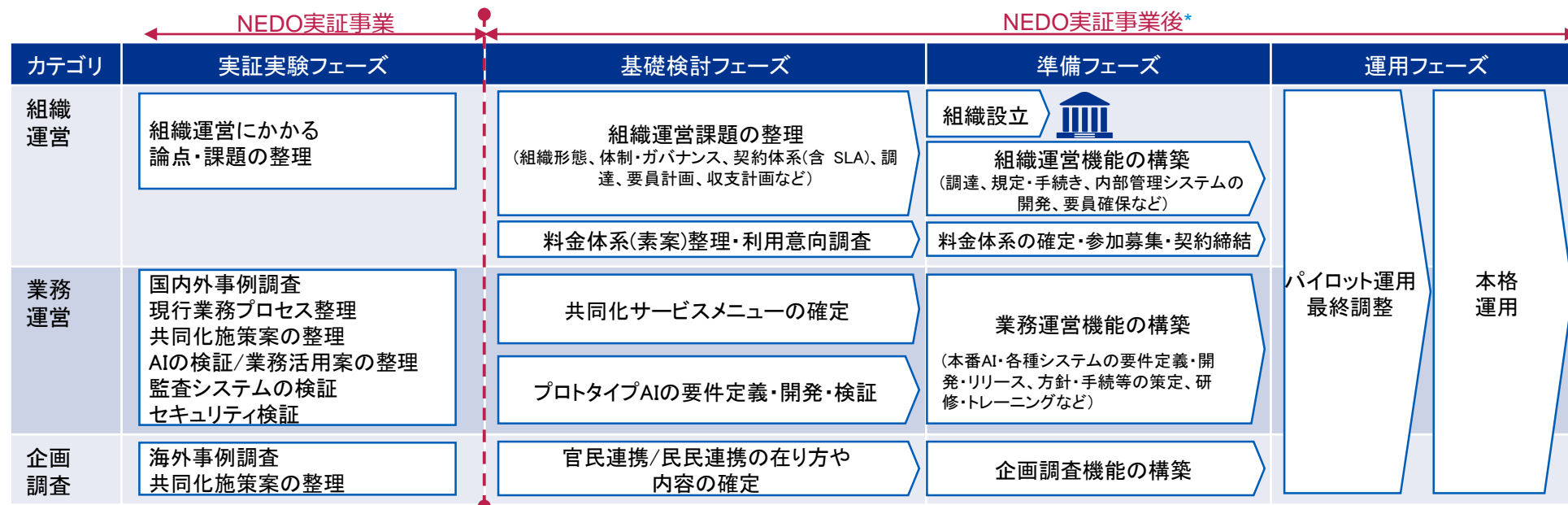
- NEDO実証事業を踏まえ、提供サービス分野・内容は以下のようなものを想定
- 実際に必要な機能、その実現可能性・実現順序等については今後の要検討事項であり、タスクフォースの中で継続検討

| サービス分野   | サービス（イメージ）   | 今後の要検討事項（例）  |
|--|--|--|
| <p>AIを活用した業務機能</p> <p>取引モニタリング<br/>取引フィルタリング<br/>等</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 各行が実施する取引モニタリング・フィルタリングのアラート/ヒットに対し、AI等を用いてその確度評価を実施。評価理由を付して各行に還元</li> <li>• アラート/ヒット生成の品質維持・向上に苦慮している銀行への対応も含め、状況にあった複数のオプション提供も検討（例：モニタリングシナリオやシステムの提供など）</li> <li>• AI等の機能の適切性監査</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 共同化が必要な業務範囲、優先順位付け</li> <li>• 顧客情報等の個人情報の取扱い</li> <li>• 共同機関設立主体・参加者及びコスト負担（各行の合理性確保）</li> <li>• システム設計・運営<br/>（RBAと整合するシステム設定・AI開発、参加行システムとの連携 等）</li> <li>• 共同機関と委託行の責任分岐点</li> </ul> |
| <p>上記以外の業務サポート/<br/>企画調査機能など</p>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 参加金融機関への研修・監査支援</li> <li>• 参加金融機関間の情報共有</li> <li>• 外部への情報発信、中長期課題の調査研究</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 必要機能を優先順位をつけ検討</li> </ul>   |

～ 上記を優先的に検討し、以下は更なる付随機能として検討 ～

## 共同化に向けたロードマップ

|              | 基礎検討フェーズ   | 準備フェーズ  | 運用フェーズ  |
|--------------|--|---|---|
| 組織運営         | <ul style="list-style-type: none"> <li>組織運営にかかる課題(組織形態、体制・ガバナンス、契約体系(含 サービスレベルアグリーメント)、調達、要員計画、収支計画など)を整理。</li> <li>料金体系(素案)を整理し、利用意向調査を実施。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>申請・届出などを行い、組織を設立。また、基盤の調達や内部管理機能など組織運営にかかる機能を構築し、運用開始の準備を完了。</li> <li>料金体系を確定し、参加機関の募集や契約締結を開始。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>一部参加機関に限定し、パイロット運用を実施。</li> <li>当該運用の結果を踏まえ最終調整を実施し、本格運用を開始、参加機関を徐々に拡大。</li> </ul> |
| 業務運営<br>企画調査 | <ul style="list-style-type: none"> <li>共同化のサービスメニュー等を確定する。</li> <li>実務に即した本番AIの開発に向け課題を整理するため、プロトタイプAIを開発。</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>サービス提供等にかかる準備を完了。具体的には手続レベルの業務フローの整理や本番AI・システムのリリース、方針・手続の策定、トレーニングなど。</li> </ul>                          |   |



\*なお、海外事例を踏まえると、当局が、金融機関等による技術革新等を用いたAML/CFT対応促進、および共同化に参加しやすくなるようなインセンティブ付与等を行うなどの施策を講じることが望ましい。

## NEDO実証事業を踏まえた2021年度の取組み

### 1. 「AML/CFT業務共同化に関するタスクフォース」の設置・運営

- AML/CFT共同化施策の実現に向けた検討の場として、「AML/CFT業務共同化に関するタスクフォース」を設置。
- タスクフォースの運営に当たっては、NEDO研究委託事業からの継続性の観点から、有限責任あずさ監査法人および日本電気株式会社をコンサルティング事業者として選定。金融庁はオブザーバーとして参加。
- 今年度は、NEDO報告書で整理したロードマップにおける「基礎検討フェーズ」の課題整理を実施予定。
- 具体的には、各行に共通する課題や、共同化が望ましい領域の特定、及びその実現可能性等を分析し、検討を深化

### 2. AML/CFT態勢高度化研究会

- 今年度は、実効性のある継続的顧客管理およびリスクベースの取引モニタリングの在り方等について調査・研究を実施予定。
- 研究会での調査・研究に当たっては、有限責任あずさ監査法人をコンサルティング事業者として選定。金融庁はオブザーバーとして参加。
- 直近では、継続的顧客管理に関する海外事例研究を行うほか、地銀協・第二地銀協とともに、継続的顧客管理、取引モニタリング等に関する各行の課題ヒアリングを実施中。本結果を踏まえ、大手行のプラクティス等を共有予定。





一般社団法人

全国銀行協会